

そなえあれば
うれいなし

西淀

防災 Times

Vol. 1 令和6年4月3日発行 担当：安東

令和6年度も、健康教育部より教職員の皆様へ防災に関する情報をお伝えするために、不定期ですが『西淀防災 Times』を発行します！何事も、「そなえあればうれいなし！災害は起きるもの」として日頃から意識しましょう。

『西淀防災 Times Vol.1』は、今年度の防災訓練計画の日程と、4月と5月に実施する『教員実働訓練』と『火災避難訓練』についてお知らせします。

◆令和6年度 防災訓練計画

日程	内容
4/8	教員実働訓練①
5/2	火災避難訓練①
5/15	171訓練
夏休み中	教員実働訓練②(予定)
8/1	教職員対象防災研修 (津波・高潮ステーション) ※任意参加
9/5	防災教育
9/26	火災避難訓練②
10/28	地震津波避難訓練
2/7	Jアラート訓練

R6年度の防災訓練の日程です！
今年もご協力よろしくお願いします。

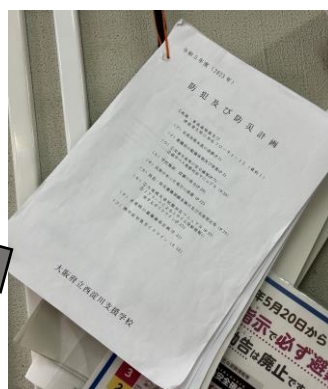
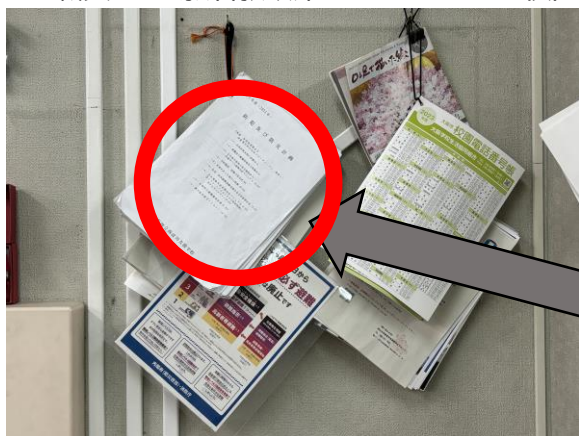


◆本校の防災計画について

はじめに、本校の防災計画のご紹介をします。本校は西淀川区にありますが、区内全域が海拔マイナス地域となっているので、地震や津波の被害が大きいことが想定されます。しかし、最近ほどの学校でも防災計画が作成されていますが、**「防災計画を周知できておらず、学校の防災体制がどうなっているのか分からない。」**、**「防災計画には莫大な量が記載されているので、時間がなくて目を通せていない。」**の2点が課題となっている学校が多いようです。そこで、毎年4月上旬に防災 Times 第1号を発行し、周知をしています。本校の防災計画は、50ページを超える量のため、全てに目を通すことが難しいかもしれませんが、避難に関する重要な内容も書かれているので、お時間があるときに一度目を通しておいてください。

※R6年度版は現在作成中で、今夏頃完成予定です。それまではR5年度版の防災計画をご覧ください。

◎職員室の場所(教頭席のホワイトボード横)





◆教員実働訓練（4月8日実施）

本校では、毎年4月に『教員実働訓練』を実施しています。この訓練は、子どもたちが学校にいる時に地震や津波が起きた想定で、教職員のみで実際にシミュレーションしながら避難します。本校では、二次避難場所として西淀工場を設定しています。教員実働訓練では西淀工場の中に入るので、実際にバギーを階段で上の階へ持ち上げたり、建物の高さや避難スペースを知ったりすることで、先生方に避難のイメージを持っていただき、防災意識の向上を図っています。

また、この実働訓練で取り組んだ内容は、10月28日実施予定の『地震・津波避難訓練』にて、実際に子どもたちも参加して訓練をします。※地震津波避難訓練の時は西淀工場の中には入りません。

詳細は職員会議にてお伝えしますが、各クラスでも避難の仕方等を話し合うよう、よろしくお願いします。

◆火災避難訓練（5月2日実施）

本校では、年に2回、火災避難訓練を実施しています。1学期に実施している火災避難訓練では、新型コロナウイルス感染症対策が緩和されたため、昨年度より西淀川消防署と連携した訓練を実施しています。詳細は4月25日の職員会議でお伝えしますが、今回は昨年度との変更点などをお知らせします。（4月末までに避難のポイント等を Vol.2 でお伝えする予定です。）

<昨年度との変更点>

①想定場所について

昨年度のアンケート内容に、「時間だけでなく想定場所も公表しないのはどうか」という意見が多数ありました。今年度は、消防署と連携して2年目になるので、火災が発生しやすい調理室、理科室、給食室、パソコン室のいずれか1ヶ所から出火を想定とします。2階にいるときは、本来なら理科室やパソコン室で火災が起きた場合はスロープの近くから逃げるのができないので、階段での避難となりますが、今回は階段を使用した訓練は行いません。

※9月実施の火災避難訓練では、階段を使った訓練をする予定です。

②消火訓練について

昨年度は、児童生徒が消火体験をしましたが、今年度は、教職員を対象とした消火訓練を実施予定です。児童生徒には実際に火が燃え上がる様子や、消火していく様子を見て火事について学ぶことを計画しています。後日、係で消防署と打ち合わせをし、4月25日の職員会議で消火訓練の詳細についても報告する予定です。先生方にご協力をお願いする場面などがあるかもしれません。その際はご協力のほどよろしくお願いいたします。

※火が燃え上がる様子を見る場面は、運動場に避難した場合のみです。



<その他>

○雨の日対策について

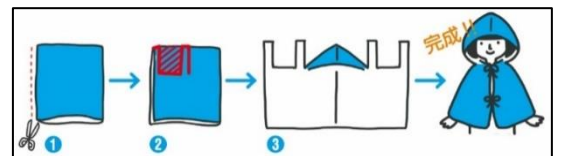
天候の想定に関しては、昨年度と同じく『その日の天候に合わせた想定』とします。

※晴れの日には運動場、雨の日にはピロティへの避難となります。

雨の日に火事が起きた時も、火災が発生した場所によっては校舎の外を移動する場合があります。雨で身体が濡れてしまうと低体温症になる可能性もあり、命に関わる子どもたちもいます。それを防ぐために車いす用のレインカバーや傘で対応する必要があります。今回も天候の想定をしていないので、各学年で避難に必要なものをしっかりと相談しておいてください。

*雨具がない場合…健康教育部で『ゴミ袋ポンチョ』を勧めています。簡単に作成できるので、各学年の児童生徒+教職員の人数分を用意して保管しておく、緊急時すぐに避難ができます！

（参考：NHK つくってまろう「ゴミ袋ポンチョをつくろう」、西部ガス「防災クラフト」）



西部ガス